

Interview

CTO
Chief Talent
Officer

×

新卒
チーム

4月になると「新卒チーム」のみなさんは先輩となり、「新卒チーム」から卒業します！一年を振り返り、そして新しい一年への抱負を対談形式で聞いてみました。

この1年間でのそれぞれの「気づき」、
勉強になったところを教えてください。

山之内：仕事のスキルはたくさんついたんですけど、仕事以外の日常での考え方が大きく変わりました。視野が広がったことがすごく大きいですね。仕事だけじゃなくて、日常でも今までと違った視点で捉えるので、何か見えるところが増えていったのが、1年間で大きな変化だと思います。

森口：「仕事はやってみないとできるようにならないな」ということです。どれだけ先に勉強して知識をもっている、実際にやってみてわかることがすごく多いです。そして、自分事にする、当事者になってやってみるってというのはすごく大切だなと思ったので…いろんなプロジェクトに参加したいと思っています。

大山口：半年間仕事をしてみて一番大切だと思ったことは、「仕事は提案することだ」という考え方を教わったこと。自分だけで考えても、相手に伝えなければ何もならないし、それだと仕事としての価値も生まれないというのが一番大きかったことです。もう一つは、ビジネス的な観点が自分の頭の中に入ったこと。例えばカフェに行った時に、そのカフェの客単価を考えるようになったのは、マーケティングという仕事をしていく上で自分の中で大きかったなって思います。

野原：3人に対して感じていることは、できることがたくさん増えたと思うので、まずはそれを整理して、今までやってきた自分をちゃんと認めてあげて欲しいと思います。また、人はそれぞれ波があるので、調子が悪い時でも、ある程度のパフォーマンスが出せるようにして欲しいということと、同期の3人で切磋琢磨しながら、お互いにカバーしあえる仲間になってほしいと思っています。

それぞれ成長したと感じた部分を教えてください。

山之内：会社の中でもよく言われるんですけど、「自己認識」のところ。今までは自分が見ているところでしか評価できなかったけど、自分と相手が思っていることの違いのわかるようになりました。客観的に自分を見るところでは、すごい成長したなと思います。



左から、野原宏昭（CTO）、山之内公汰、大山口強、森口菜々子（新卒チーム）

森口：俯瞰的に見ることの大切さ。そういう視点をもつこと。それが一番身についたと思います。目の前のことに集中してしまうことが多くて、結局何に繋がるのかを考えられてなかった時もあったので、そういう時こそ冷静に、俯瞰して見られるようにしておきたいと思います。

大山口：僕は人を認めてあげることができたこと。これまでは自分と人を比べて、「自分の方ができるぞ」みたいなことが今までの人生ではあったんですけど、単純にこの人すごいなと思ったら、「めっちゃすごいですね」「素敵ですね」みたいに、人を褒める、承認することができるようになったのが、この半年間の成長だと思います。

野原：3人に期待することと言えば、それぞれの得意分野をもって欲しい。その得意分野を社内で思いっきり発揮して、時には凹むこともあると思うので、3人の同期の力を使いながら、切磋琢磨し合って欲しいなと思っています。

最後に、今後の抱負を教えてください。

山之内：一個人として会社の売り上げに貢献したいです。具体的には、ライティングもそうですし、一人のマーケティングとして仕事をしていきたいなと思っています。

森口：単に会社で働いているというよりも、会社の一員として、会社の方向性も自分事に捉えて、事業拡大や売り上げに貢献していけたらなって思っています。

大山口：自分の結果が出てないところが一番やっぱり課題ですね。広告を回したらちゃんといい結果が出るとか、メールを出したらそれにちゃんと反応があるとか、自分でも他人からも評価されるようになりたいと思います。

野原：僕らが成長していくことは絶対に必要です。その中で、会社が成長するためにできること、すべきこと、必要なことは全力でやっていきたい。一人ひとりが成長し、個人がチームとして機能すること、株式会社OnLineで働くメンバーがますます幸せになること、そのためにどうしたらいいのか？ということ、誰よりも深く考え、実行に移して、僕だからできることをやっていきたいと思っています。